
バカテス×1 両編～プロローグ～

甘楽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカテス×1 両編〜プロローグ〜

【Nコード】

N0773M

【作者名】

甘楽

【あらすじ】

池袋所在の文月学園。そこでは日常と非日常が絡み合う。

(前書き)

静雄が主人公のバカテスです。どうぞ

文月学園 Fクラス

あーダリい。マジダリい。

「なんでこんなクラスになるかなあ・・・」

平和島 静雄

その名前は、町のチンピラにとって恐れをもって挙げられる存在だ。なんせ彼の力は、そこらの自動販売機でさえ持ち上げ、投げてしまふほどのだから。

チンピラ達にとって恐怖の存在となつていながらもかかわらず、彼の成績は優秀な方で、Aクラスには入れなくても、B、Cクラスくらいには入れるだろうと思つていたのだが・・・結果は、Fクラス。

「あんなところでキレてなけりゃなあ・・・」

なぜ成績優秀な彼が、Fクラスになつてしまつたかというと・・・

「でも、悪いのはあの眼^{ガン}つけてきた教師が悪いんだよなあ・・・」

彼は、試験中にブチ切れ、机を投げてしまったのである。

実際に、教師が悪いところもあり、奇跡的にけが人もいなかったため、停学は免れたが・・・

途中退場ということ、無得点扱いとなつてしまつた。

「さて……臨也のやつにでも八つ当たりしてくるか……」

折原 臨也

彼は学年の中でも最優秀の成績であるが個人で情報屋を営んでいるというつわさもありません。停学になったことも何度かある。

今年も女子の最優秀、霧島翔子を差し置き、Aクラスの代表となった。

臨也と静雄は犬猿の仲で、臨也はナイフを使い、静雄はそこらのものを使って、いつもいつも殺し合っている。そのたびに西村先生に止められてしまうが。

「いねえな……戻るか、雄二と殺り合ってこよう。」

こうして、静雄のいつも(?)の日常が始まるのであった。

(後書き)

どうでしたか？

文月編と池袋編に分けてやっていこうと思います。次回をお楽しみに

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0773m/>

バカテス×1 両編～プロローグ～

2010年10月9日02時22分発行